

### 令和6年度 学校自己評価システムシート（埼玉県立草加西高等学校）

目指す学校像	人に優しく、自分に厳しく、社会に貢献できる人間を育てる学校 ～自らの力で夢を実現できる力を養う～
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 主体的に学ぶ意欲と探究心を育む授業の充実</li> <li>2 社会に通ずる規範意識の育成と、学校行事や生徒会活動・部活動の充実</li> <li>3 個々の希望を叶え、生徒の人生を豊かにするきめ細かなキャリア教育の実現</li> <li>4 地域連携の強化と積極的な情報発信による開かれた学校づくりの推進</li> </ol>

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A ほぼ達成	(8割以上)
	B 概ね達成	(6割以上)
	C 変化の兆し	(4割以上)
	D 不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえ、評価結果を踏まえて翌年度の学校関係者評価を実施する。

出席者 学校関係者	6名
生徒	6名
事務局(教職員)	9名

学 校 自 己 評 価	現 状 と 課 題	年 度 評 価 標 準		年 度 評 価 ( 2 月 1 0 日 現 在 )	学 校 関 係 者 評 価			
		評 価 項 目	具 体 的 方 策		評 価 項 目 の 達 成 状 況	実 施 日	合 計	年 度 評 価
		具体的方策	方策の評価指標		評価項目の達成状況	年度評価	評 価	
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大半の生徒が授業に落ち着いて取り組んでいるが、主体的に学ぶ意欲が低い。</li> <li>○ 授業をはじめとする生徒用タブレットの端末の更なる活用について一層、検討が必要である。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎学力の定着、知識活用能力の向上を図るために、家庭学習の時間を増やし、自学を定着させること。</li> <li>○ 教員の授業へのICT活用スキルを向上を図ること。</li> <li>○ 生徒の学ぶ意欲・探究心を刺激し、主体的に学習に取り組み姿勢を育成すること。</li> <li>○ 図書館、タブレットの活用促進。</li> <li>○ 3年間を見通して、計画的に資格取得ができるよう、学校全体で情報を共有して組織的に取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的・対話的に学び、深い学びの実現に向け、意図的に学ぶ生徒を育成する。</li> <li>○ 新教育課程を踏まえた授業改善を推進する。</li> <li>○ 手帳を活用し、生徒の自己マネジメント能力を高めます。</li> <li>○ 生徒学習調査による家庭学習時間等の増加に向けた計画を生徒に伝え、合格に向けた補習等を充実し、資格取得を推進する。</li> <li>○ タブレット活用、図書館利用を積極的に活用した探究活動の推進。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業公開月間を設定し、授業互見状況、授業改善研修の実施状況。</li> <li>2 生徒学習調査による家庭学習時間等の増加に向けた計画を生徒に伝え、合格に向けた補習等を充実し、資格取得を推進する。</li> <li>3 資格試験の受験者数及び合格者数。</li> <li>4 タブレットの授業での活用状況、図書館の授業での利用数、図書の出数。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多くの生徒が授業に積極的に参加し、日々の学習に取り組む。特に「総合的な学習の時間」において、各学年とグループワークで発表等を通して、問題解決能力を高めることができた。また、資格試験会場に向けて積極的に取り組む生徒いた。</li> <li>○ 10月21日(月)～11月29日(金)に授業公開月間を設定。情報科及び家庭科中堅研修会協賛実施。授業改善アンケートの結果をそれぞれの担当者とフックアップ。授業改善に役立てた。</li> <li>○ 何らかの形で家庭学習をしている生徒は66.5% (前年度74.7%)で減少。授業総合満足度72.2%。全学年で手帳を活用し、特に3年生は進路活動で積極的に活用した。</li> <li>○ 14年生で学級検定、2年生で家庭科食物調理検定を全員受検、1年生で学級検定合格者116名(合格率51.1%)、2年生家庭科食物調理検定合格者211名(合格率93.3%)、実用英語能力検定(年3回実施)192名受検、2級4名合格、準2級17名合格、3級28名合格、全国商業高等学校主催簿記検定3級合格11名。</li> <li>○ 総合的な学習の時間、英語科をはじめとする各教科の授業において、生徒がタブレットを活用した授業を展開した。図書館の授業での利用数 6教科64回、図書貸出数2,817冊(2月10日現在)</li> </ul>	A	<p>○ 今後も継続的に家庭学習の習慣化を働きかけ、学習時間を増加させることによる学力向上を図る。</p> <p>○ 教員のICT活用スキルを更なる向上を図るとともに、生徒用タブレット端末の授業での活用について各教科で検討していく。</p> <p>○ 授業と評価の一体化について、研究を行い、観点別評価を踏まえた更なる評価の改善を図っていく。</p> <p>○ 「主体的、対話的で深い学び」についての工夫を進め、生徒の授業を踏まえた授業改善を図っていく。</p>	<p>実施日 令和7年2月10日</p> <p>学校関係者からの意見・要望・要望・要望等</p> <p>○ 授業公開月間を設定し、相互の授業観察等を行うことで、授業改善ノウハウを実施すると、教員の授業力向上に努めていることは高く評価できる。</p> <p>○ 生徒に各種検定試験を積極的に受験させることで、進路実現に向け、目標を明確にするなど、生徒の学習意欲の向上に繋げ、取組は高く評価できる。1年生から目標を立ててチャレンジするようになったのはいいのではないか。</p> <p>○ タブレットなどに活用を積極的に活用することにより、個別最適な学びや協働的な学びを一体的に実現させ、主体的・対話的で深い学びの授業改善を行っていることは高く評価できる。今後、家庭学習におけるICT活用で、学習意欲を喚起することが望ましい。</p> <p>○ 読書離れが進んでいる現状がある。読書をする機会を設定や学校図書館の活用を勧め、読書を習慣化することにより、基礎学力の向上、「主体的・対話的で深い学び」に繋がっていく。</p>	
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ きめ細やかな生徒指導により、生徒は落ち着いた雰囲気の中で学習することができ、安定した学校生活を送ることができている。</li> <li>○ 近隣住民から自転車マナーに対する意見が多く、マナーを守ることができない生徒も少なくない。</li> <li>○ 生徒会が中心となって学校行事の運営がされている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己肯定感が低い生徒が多いので、生徒が活躍できる場を多く設定する。</li> <li>○ 生徒の実態を把握し、潜在化している問題を早期発見することにより、状況に応じた指導体制や支援体制がもたれている。</li> <li>○ 登下校時の安全を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自らの意志で行動を律する力のあはる生徒を育成し、規範意識の向上を図る。</li> <li>○ 教職員間、保護者との連携を密にし、選別指導や身だしなみ指導等を実践することで基本的生活習慣が生徒自らの力で身に付くよう指導する。</li> <li>○ SC, SSW、草加分校等と連携し、教育相談体制の充実を図る。</li> <li>○ 二者面談を実施し、生徒の現状を正確に把握する(年2回以上)。</li> <li>○ 生徒の規範意識を醸成し、特に、交通ルールやマナーを守るとともに、時間を守ることを通じた進路に向け5分前登校を推進し交通安全を課す。</li> <li>○ SNSとの関わり方についての指導の充実を図る。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 欠席率2.8%(R5 2.5%) 遅刻率0.9%(R5 0.8%) 皆勤者192名(R5 17.5%)</li> <li>2 スケールカウンセラー実施回数12回、カウンセリング回数約24回。</li> <li>3 各学期初めに全クラスで二者面談を実施。必要に応じて、適宜面談を実施。</li> <li>4 登下校時の交通事故ゼロ達成状況。</li> <li>5 SNSについての講演会等を通じての指導状況、SNSトラブルの状況。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 欠席率2.8%(R5 2.5%) 遅刻率0.9%(R5 0.8%) 皆勤者192名(R5 17.5%)</li> <li>○ 2 スケールカウンセラー実施回数12回、カウンセリング回数約24回。</li> <li>○ 3 各学期初めに全クラスで二者面談を実施。必要に応じて、適宜面談を実施。</li> <li>○ 4 登下校中の事故 5件</li> <li>○ 5 SNSについての講演会等を実施(10月)。タレント スマイルキネズ氏による「インターネットにおける人権侵害について」をテーマに、SNSトラブル等について学んだ。</li> </ul>	B	<p>○ 教職員で生徒の学校生活を支援していくことと、心のケアを必要としている生徒に対する教育相談体制の充実を図っていく。</p> <p>○ 交通安全を助行し、自転車通学の更なるマナーアップを図っていく。</p> <p>○ 時代や社会の変化に応じて、校則の更なる見直しを行っている。</p> <p>○ 生徒指導の方針を全教職員で共有し、家庭とも連携しながら、個々に応じた生徒指導を丁寧に行っている。</p> <p>○ 交通ルールやマナーの醸成については、その在り方を検討していく必要がある。</p>	<p>○ 生徒指導部を中心に全教職員が共通理解・共通行動を行い、連携・協働して生徒指導に当たっていることは高く評価できる。</p> <p>○ 校則については、生徒の意見も反映し、時代や社会の変化に応じた見直しを行っている。</p> <p>○ 面談やSCとの連携を図ると、生徒の思いに寄り添った教育相談体制が構築できていることは高く評価できる。</p> <p>○ 交通ルールやマナーの醸成については、その在り方を検討していく必要がある。</p>	
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科や各分掌との連携により、生徒の進路実現の達成率は90%を超えている。年々上位校への受験者数、合格者数共に増加している。</li> <li>○ 探究学習やICTを用いた学習支援、手帳指導も有機的に繋がっている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ フランックアップの進路を目指してチャレンジする意欲を向上させること。</li> <li>○ 多様な生徒の進路への対応を組織的に行うこと。</li> <li>○ 本校進路指導の根幹である職業観の育成と就職希望、看護医療系希望への指導を継続すること。</li> <li>○ 一般・公費・AOでフランク上の進学先を目指す指導を保護者への情報提供とともに確立すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 希望する進路に向けて意識を高め、キャリアアップの進路実現に向けて、早い段階からチャレンジする意欲を持たせる。</li> <li>○ PTA・後援会と連携し、保護者の教育活動の参画を促進する。</li> <li>○ 補習・個別面談や小論文の指導の他、長期休業中や放課後を活用して、公務員希望者の講座や進学者、就職対象者の補習等を充実させる。</li> <li>○ スタディサプリやHANDY、AIGROWなどのツールを効果的に運用し、また、全学年で手帳指導を行う。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 3年間を見通した進路指導計画について共通理解を図り、進路指導部を中心に学年と連携して行い、フランクアップの進路実現に向けて、早い段階からチャレンジする意欲を持たせる。</li> <li>2 保護者のPTA活動、各種行事への参加状況。(地域ボランティア活動や地域のイベント等への参加状況と生徒数など)</li> <li>3 PTA交通安全指導(各学期1回)を実施。PTA進路委員会主催の進路講演会を実施(9月)。</li> <li>4 3年生を対象進路講習等、延べ50名が参加した。2年生においても、14講座を開講し、60名程度の生徒が参加した。全教職員による小論文指導も適宜、実施した。</li> <li>5 PTA交通安全指導(各学期1回)を実施。PTA進路委員会主催の進路講演会を実施(9月)。</li> <li>6 3年生を対象進路講習等、延べ50名が参加した。2年生においても、14講座を開講し、60名程度の生徒が参加した。全教職員による小論文指導も適宜、実施した。</li> <li>7 スタディサプリでの課題配信や一般書読テスト等を実施。学年集会、進路行事等において、手帳を活用、1年間の見直しを立てて、計画的に行動させることができた。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化祭をはじめとする学校行事の企画・運営を生徒会生徒が中心となっており、生徒自身が主体的に動くことができた。</li> <li>○ 85.2%の生徒が主体的に学校生活に取り組んでいる。</li> <li>○ 4部活動が草加西高校サポーター事業を活用し、弓道部関東大会出場、女子バレー部関東大会出場、野球部が夏選手権埼玉大会で県ベスト32の成績を取った。部活動加入率は、86.0%</li> </ul>	A	<p>○ 各種行事をはじめ、生徒が達成感や味わいを感じる機会を増やし、生徒の学校生活の充実を図っていく。</p> <p>○ 本校独自の部活動サポーター事業の積極的な活用を図り、専門的な技術や知見を生かして活動し、部活動の充実を図っていく。</p> <p>○ 部活動単位で積極的に近隣小中学校、地域のイベント等に向かい、生徒の自己肯定感や責任感を育成していく。</p>	<p>○ 「生徒会主催の学校行事の推進、近隣の中学校へ向け、部活動をサポートしたりしていることは、生徒の自己肯定感や自己有用感の高められる上で重要であり、それが居心地の良い学校づくりに繋がっている。</p> <p>○ 多くの部活動がよい成果を残している。生徒が力を合わせて頑張ってきた成果である。</p>	
4	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 積極的な情報発信と施設開放、地域ボランティア等を行っている。近隣中学校と良好な関係を築いている。</li> <li>○ コロナ禍以降学校行事や授業公開への保護者の参加が減少している。</li> <li>○ 草加ががき特別支援学校草加分校との交流は良好である。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の中・小・中学校との交流を継続して実施するとともに定着化させること。</li> <li>○ PTA活動への保護者理解と参加者を拡大すること。</li> <li>○ 地域住民の方々が来校する機会が限られている。</li> <li>○ 入試倍率が低下傾向にあるので、学校の取り組みをどのように周知していくか。</li> <li>○ 分校との相互理解を推進するため学校行事を中心とした交流を行い、また、職員との交流(合同研修会等)に取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者、生徒や地域の方々に草加西高校の魅力発信し、地域社会との連携を積極的に図る。</li> <li>○ 生徒自身が地域で活躍する機会を多く設定することを通じて、地域住民や小・中学校等及び近隣の大学、専門学校等との連携を積極的に推進し、本校の良さを発信すること。</li> <li>○ ホームページの積極的な更新を行い、効果的に活用することを通じて、生徒の活動を積極的に掲載すること。</li> <li>○ 外部個別相談会の充実、学校説明会の改善を通じて、本校の魅力や積極的に発信すること。</li> <li>○ 草加分校と連携し、日々の連絡を共有する体制を構築する。また、各種行事を生徒だけでなく保護者、職員が一緒に行う一体感を味わう。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域との連携の推進状況。(地域ボランティア活動や地域のイベント等への参加状況と生徒数など)</li> <li>2 ホームページの更新数と閲覧数。</li> <li>3 ホームページの新規登録の来場者数、部活動体験、体験授業、学校説明会の来校者数。</li> <li>4 草加分校と連携し、日々の連絡を共有する体制を構築する。また、各種行事を生徒だけでなく保護者、職員が一緒に行う一体感を味わう。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の中・小学校、草加アコスや草加ふささら祭りなど、地域との連携を積極的に図ることができた。また、ホームページの定期的な更新や公式Instagramを開設し、保護者、生徒や地域の方々に草加西高校の魅力発信を行うことができた。</li> <li>○ 14年草加アコスと連携した文化イベントを開催(6月、12月)。ダンス部、吹奏楽部、ボランティア部、書道部、放送部、家庭科(保育基礎)選択生徒が参加。また、草加市主催「認知イベント」(9月)にボランティア部、書道部参加。草加ふささら祭りに放送部が参加、ドワァアダンス部が参加。</li> <li>○ 公式Instagramを開張(10月)。フォロー数388(2月10日現在)。ホームページ更新166、アクセス数約600万9千回(2月10日現在)</li> </ul>	A	<p>○ ホームページ及びInstagramをはじめ、県教委SNS発信依頼、取材案内を行い、草加西高校の魅力発信を更に行っていく。</p> <p>○ 地域小中学校、草加市役所、草加アコス等地域社会との連携を積極的に図り、地域貢献を図っていく。</p> <p>○ ホームページ、県教委SNS、公式Instagram等を効果的に活用して、開かれた学校づくりを進めていることは高く評価できる。</p> <p>○ 草加分校と合同の学校行事を設定することで、インクルーシブ教育の推進を図っていることは高く評価できる。</p> <p>○ 草加分校との更なる積極的な交流を推進し、インクルーシブ教育の発展を図っていく。</p>	<p>○ 地域の中・小学校、草加アコスや草加ふささら祭りなど、地域との連携を積極的に図ることができた。また、ホームページの定期的な更新や公式Instagramを開設し、保護者、生徒や地域の方々に草加西高校の魅力発信を行うことができた。 <p>○ ホームページ、県教委SNS、公式Instagram等を効果的に活用して、開かれた学校づくりを進めていることは高く評価できる。 <p>○ 草加分校と合同の学校行事を設定することで、インクルーシブ教育の推進を図っていることは高く評価できる。 <p>○ 草加分校との更なる積極的な交流を推進し、インクルーシブ教育の発展を図っていく。 </p></p></p></p>	